煤ヶ谷駐在所

厚木警察署
煤ヶ谷駐在所
編集＊渡部
TEL 046-223-0110

自転車マナーアップ対策の推進

◎ 目的
自転車利用者の交通ルール遵守とマナー向上の気運を醸成し、自転車交通事故防止の更なる徹底を図るため、交通指導取締り、交通安全教育、キャンペーンなどの自転車マナーアップ対策を強化します。

◎ 期間
令和３年５月１日（土）から５月３１日（月）の１か月間

◎ スローガン
自転車も　のれば車の　なかまいり

◎ 重点
○ 自転車交通ルールの遵守とマナーの向上
○ 自転車点検整備の促進と自転車損害賠償責任保険等の加入義務の周知徹底

◎ 家庭では
○ 家族が自転車で出かける際には、交通事故に遭わないよう交通安全の「ひとこえ」を掛けましょう。
○ 自転車も乗れば車両であり、交通ルールを守らなければならないこと、事故を起こしたときの責任などについて、家族で話し合いましょう。
○ 子供が自転車を運転するときや子供を自転車に乗せるときは、必ずヘルメットを着用させるとともに、大人も積極的にヘルメットを着用しましょう。
○ 幼児を同乗させるときは、前面に抱っこすることはハンドル操作の妨げになるのでやめましょう。また、幼児用座席に幼児を乗せるときは、シートベルトを着用させましょう。
○ 「神奈川県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」で加入が義務付けられている自転車損害賠償責任保険等に確実に加入しましょう。

県民を脅かす生活経済事犯対策の推進

～「コピー商品」「海賊版商品」を追放しましょう！～

◎「生活経済事犯」について
「生活経済事犯」とは、人間の幅広い知的創造活動の成果を保護する「知的財産侵害事犯」、高齢者等の社会的弱者に多大な被害をもたらす「悪質商法事犯」、過酷な取立てにより平穏な日常生活を破壊する「ヤミ金融事犯」、家庭の食卓を脅かす「食の安全に係る事犯」、人々の健康に関わる「保健衛生事犯」、後の世代に引き継ぐべき生活環境を破壊する「環境事犯」等、県民の日常生活の安全と安心に大きな脅威を与える事犯のことを言います。県警察では、生活安全部内に「生活経済課」という専門的な部署を設けて、生活経済事犯に関する取締りを推進しています。

◎「知的財産権」について
まず、知的財産権とは、知的な創造活動によって生み出されたものを、創作した人の財産として保護するために創作者に与えられた権利のことです。知的財産権は、商標法、著作権法、不正競争防止法、特許法、実用新案権法、意匠法などの法律により保護されています。

～コピー商品や海賊版商品をなくすために～
コピー商品や海賊版商品を買うこと、もらうこと、使うことは、犯罪を助長する行為です。また、コピー商品や海賊版商品を作ること、売ること、売るために持っていること、海外から輸入することは、犯罪です。

事件記録板

３月中旬から４月中旬までの事件は、
空き巣、侵入盗等の特殊詐欺事件の発生はありませんでした。

犯罪に巻き込まれたり、犯罪を犯す事は、自分の置かれた環境が関係すると思います。悪い環境に身を置けば、悪い誘惑があり、悪い行動にもなります。良い環境であれば、希望が持て、希望から幸運が舞い込んでくるものだと思っています。
ご自身の希望と行動次第で人生が変わるものと思います。

駐在所の独り言　~悩みは、思考の転換と心掛けから軽減します！！~

先日、アンケートに答える機会があり、その質問の中に悩みがあるかを問われるものがありました。私自身、特に大きな悩みはないものの、一般的には悩みの多くは対人関係によるものだと言われる。それは、あくまでも統計学上の数値であろう。でも確かに言動に違和感を感じたり、耳障りな事を言われたりと、心当たりもある。だとすれば、悩みをなくす為には、人の関わりの中で人柄、会話の内容等で認知した情報を基に自分にとって必要な人と距離を置くべき人を分けて捉えてみたらどうかと思う。人は人により良し悪しにつけ、最大の影響を受けるんですね。お互いにとって対人関係は、如何に冷静で楽観視出来る関係が基本であって、ストレスになる関係であってはならず、寧ろ悩みを軽減できる対象であるべきであろうと思う。また楽観視出来る事は、別名幸せホルモンと呼ばれる、オキシトシンが脳に分泌され、希望を持ち、正しい選択が出来ると言われている。この事は、振り込め詐欺に騙されない事や自殺という誤った判断しない為にも大切な事であると思う。振り込め詐欺の手口は、とかく急がせ、時間がないと煽り、焦らせる事です。つまり冷静さを失わせる事で、正しい選択と判断が出来なくさせるんです。逆に誤った判断をしない、騙されない為には、嫌な事を忘れたり、希望や夢を持つ事なんですね。悩みをなくし、希望を持ち、冷静になり正常な判断出来る思考は、如何に必要な事であると思います。趣味は無理に作ってはダメ、いつでも楽しめて、たった一人でもずっと続けられるものであること。定年後は、今までやって来た仕事を話題にしない。その理由は、退職すれば、ただの普通の人の戻るという今の現状を知る事です。そこでよく語られる事は、井戸端会議が出来れば一人前と言われる。話題は常に日常の生活の中からアップし、そうした話題に目を向けられる人になる事が大切なのかもしれません。皆さんも心当たりがあれば、先を見る前進という発想の転換をして、希望を持って明るく生きて欲しいです。